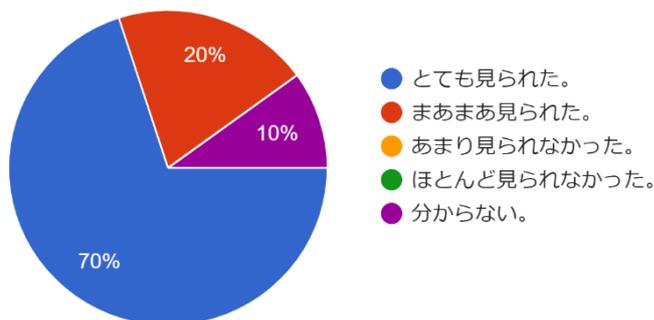


## SDGs 教育プロジェクト学年末アンケート（先生・外部対象）

SDGs 教育プロジェクトで支援を行ってきた学校の先生方や外部団体等の方々に対して、学年末にアンケートを実施した。

- ・ 時期 2024年2月
- ・ 方法 グーグルフォーム
- ・ 回答 10名（学校5名、外部5名） ※2024/2/28時点

- 学習を通して、児童・生徒に意識や行動の変容が見られましたか。



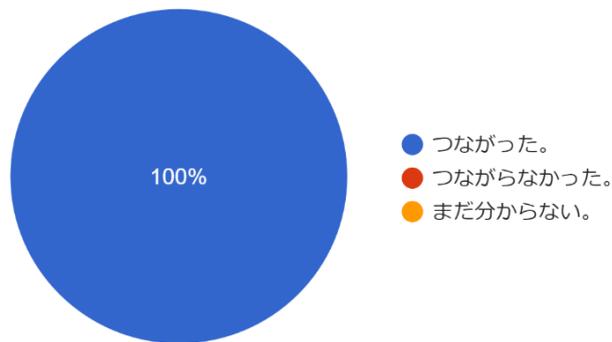
- 具体的にどんな変容が見られましたか。
  - ・ 地球温暖化などの知識はあるものの、自分たちの生活にどう影響があるか知らなかったため、この学習を機に、自分事として捉える姿が見られた。水を出しっぱなしにしない、電気はこまめに消すなどの意識が高まった。
  - ・ 地域の川や仙台市の川への関心が見られ、環境問題への気付きが見られるようになった。
  - ・ 初めの段階においてすでに意識がある子たちだと思うので、ネガティブからポジティブという変容ではないと思ひまして、「わからない」にさせていただきました。
  - ・ 経年的な変化は追えていないが、授業の前後での生徒の SDGs への関心の高まりが傍目で見ても分かり、授業後のアンケートでも、多くの生徒が SDGs をもっと調べる、周りに伝える、行動すると回答していたから。
  - ・ 日頃の SDGs 教育を通し、実際の生活におけるアイデアが多く出された。
  - ・ 地域とつながろうという意識がついたり、環境問題に対して目を向けるようになったりしたこと。
  - ・ グリーンカーテンに関しては、総合の学習と関連付けて考え、自分たちの発表や生活に生かしていました。視野を広げて物事をみる力がつきました。
  - ・ クロネコヤマトさんの授業では、食品ロスをなくそうと口々に言って給食を残さず食べようと意識している。
  - ・ 植物のあらたな役割にきづいていたようです。
  - ・ 生徒さん自身の主体性が感じられる発言が増えました。
  - ・ この授業をしていただいたあと、国語「世界に向けて意見文を書こう」という学習をしました。海洋ゴミの問題点について具体的に自分の思いを持って意見文を書くことができました。

個人でゴミ拾いをしたと報告してくれた児童が何人かいました。

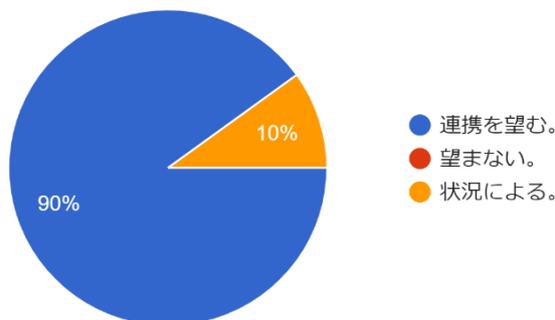
この後の学習で総合「未来の荒浜 まちづくり」を行いました。サステイナブルな視点・ゴミを減らす視点を意識して、建物を作る児童がいました。

スウェーデンの良さに触れ、卒業文集のクラスのページに、「スウェーデンに住みたい」「スウェーデンに行ってみたい」と書くなど憧れを持つ児童がいました。また、児童の年齢に近い大学生のお話を聞けることは、キャリア教育の面からもよかったのではと思います。

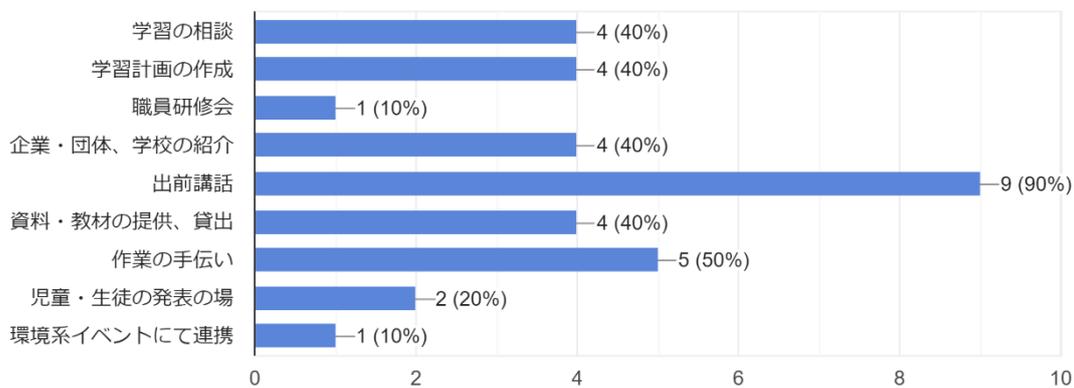
- 連携は「持続可能な社会の創り手」を育てることにつながりましたか。



- 今後も連携を望みますか。



- 防災や気候変動を取り上げた SDGs に関する学習において、どんな支援を望みますか。（複数可）



- ご感想やご意見をお聞かせ願います。

- ・ 今年度は環境学習でお世話になりました。総合はプランをつくるのが大変なので、亀崎さんに情報を提供していただき、実りある学習になりました。グリーンカーテンは、あの規模のものをするのはなかなか難しいので、たくさんサポートしていただいたおかげで、エアコンにすべて頼ることなく夏を過ごす方法が身を持って分かったと思います。次年度の5年生にも引き継ぎ、またお願いしたいと思っています。1年間ありがとうございました。
- ・ ゲストティーチャーとして訪問いただき、川の散策などをしていただいたことで、児童が地域の環境問題に関心を持ち、自分事として捉えることができるようになりました。また、丁寧な対応をしていただき、教職員も安心して活動に取り組むことができました。ありがとうございました。
- ・ グリーンカーテンでは大変お世話になりました。亀崎さんなしには行えない事業でした。来年も引き続き行えるよう進めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

- ・ タスクワークや日々の授業に多忙を極める教職員にとって、ニュートラルな立場で、安心してSDGs教育を囑託できる外部機関がある事は本当に大切だと思います(まさにMELONのコモンズとしての役割ですね!)。科学や事実や現状を解りやすく伝え、自由に生徒に考えさせて議論・発表する場を提供すれば、生徒たちは的確に私たちが伝えたい事を斟酌し、ユニークな発想に繋げる事は現地を見て確信したところです。大事なことは、生徒たちが一見実現不可能な事を言っても、絶対に否定しないこと、絶望が差し迫っている中で、それをしっかり伝えながら、希望を棄てない大切さを伝えることだと思います。そのためには、実際にアクションしている年齢の近い学生を招聘して、実体験を共有していただける方がいればいいのですが・・・。たとえば東北大学のソーシャルグッド系なサークルにリーチしてみるとかですかね。あるいはパタゴニア仙台のスタッフは並べて環境志向が高く、楽しく子どもたちに環境アクションを伝えられるのかなあと思いました!
- ・ クロネコヤマト環境教室を開催させていただきました。ご協力ありがとうございました。進行全般、投影資料のブラッシュアップ、ワークショップの時間など工夫を重ね、環境教育にお役に立てるよう試行錯誤を重ねてまいります。
- ・ 今年度、大変お世話になりました。今後ともぜひ連携をとっていきたいと思えます。どうぞよろしく申し上げます。
- ・ 宮城県初のクロネコヤマトさんの出前授業でしたが、児童がこれまでの総合、社会、国語などの学習とつなげて考えることができたことが良かったです。講話の中に具体的な数値や他の対象との比較が挙げられていたので、児童も関心を持ち、具体のイメージや身近なこととつなげて考えることができたと思います。欲を言えば、児童がアウトプットする時間がもう少しとれるとよいのではないかと思います。大人としてもとても面白く拝見できました。ありがとうございました。
- ・ メロンスタッフさんに、学校の先生と調整しながら進めていただき助かりました。
- ・ 来年度も引き続きご連携賜りますようお願い致します。
- ・ 二度の出前授業ありがとうございました。自分たちに身近なお寿司の話題から入ったり、荒浜の海洋ゴミを見せていただいて考えさせたりなど、子供たちが自然と問題意識を持てる内容になっており、大変有意義な講話でした。今回の学習は、国語「世界に向けて意見文を書こう」という単元につなげて授業をしていただいたのですが、教科書会社が変わることに伴い、教育計画全体も変更していかなければと考えております。来年度の計画が決まり次第ご依頼させていただきますので、よろしくお願ひいたします。